



インスピレーションになろう

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2018年8月号



『雑誌月間つれづれ』

国際ロータリー第2710地区
2018-19年度 ガバナー

吉原 久司

GOVERNOR:
Hisashi Yoshihara

8月会員増強・新クラブ結成推進月間によせて

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。RI(国際ロータリー)理事会は、年度において7月以外の月に、ロータリー活動を強調するために、ロータリー特別月間を指定しています。それとは別に、日本独自の強調月間として9月に「ロータリーの友月間」、10月に「米山月間」があります。

RIでは中央アジアやアフリカなどは急速に成長している一方で、日本や欧州では会員数の減少、高齢化が著明となり、その中で2016年の規定審議会ではクラブ運営の大幅な柔軟性を認めることとなりました。ただその後も122万人前後で低迷をしています。

当地区では1997年・1998年に4,279名と最高になり毎年28名から169名が減少し最低は2012年に3,197名となりその後は少しずつ増加に転じました。しかし少しでも気を抜くとすぐに会員減少を招くという現状です。そこで地区の基本目的を「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」とし藤中PGの方針を継続し会員50名以下のクラブは純増1名、51名以上のクラブは純増2名としました。また今年度特別事業として当年度に入会した方全員に記念のバナー(氏名、クラブ名、入会年月日記載)を贈呈します。各クラブで入会時や

記念行事の際のクラブ会員の前のセレモニーに利用していただき、新たな自覚をもって入会してもらいたいと思います。2018年5月1日現在3,297名ですが何とかこの会員数を増加の方向で塗り替えたいと思い皆様をお願いします。もちろん会員増強には質の増強も考えなければなりません。各クラブにはぜひ研修リーダーを指名してもらい、インフォーマルミーティングを頻回に開き、研修リーダーを中心にクラブのシニアリーダー達からロータリーの神髄・哲学を学んでいただきたいと思います。

日本のロータリーは2004年には最高の2,336クラブあったものが2017年には2,273クラブと減少しています。会員数も1997年には最高131,731名であったものが減少が続き、2017年には89,830名となっています。女性会員は6%(世界では20数%)と少なく、わが地区でも5%とさらに少なくなっているため、8月26日(日)の地区指導者育成セミナーにおいて女性会員増強をテーマとした特別講演を第2780地区の大谷新一郎ガバナーにお願いしました。

皆様の地域の方はロータリークラブのことをよく知っておられますか? もし知っておられる方が少ないようなら地域の皆様に知ってもらわなければなりません(公共イメージ向上)。皆様はクラブの長所や短所を知っておられると思います。退会防止のために例会はどうあらなければならないか(SAA+クラブ研修リーダー)、若い新会員を確保するために何をしなければいけないのか…(会員増強)、もう行動に移さなければなりません。心からの情熱をもって「インスピレーション」になって下さい。

【目次】

● ガバナーメッセージ……………	P1	● 奉仕プロジェクト②部門……………	P5
● 会員増強月間によせて……………	P2	● ロータリー財団部門……………	P5
● 地区研修・協議会報告……………	P2~3	● 米山記念奨学会部門……………	P5
● 会長・幹事部門……………	P3	● ロータリーの友オリエンテーション報告……………	P6
● クラブ管理運営部門……………	P3	● 国際ロータリー会員基盤向上セミナー報告……………	P6
● 会員増強部門……………	P4	● ロータリー財団寄付のお願い……………	P6
● 公共イメージ部門……………	P4	● 会員増減・出席率(6月度) 特別コラム……………	P7
● 奉仕プロジェクト①部門……………	P4	● 新会員・物故会員紹介 文庫通信 (奥付)……………	P8



～輝こう ロータリーふたたび～



『会員増強』真の目的は？！

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会カウンセラー・バストガバナー 西村 栄時

毎年8月は、ロータリーが定める『会員増強』月間です。国際ロータリーは会員基盤を整えるため、会員への増強意欲を高め、早期の成果を期待して年度のスタート間もないこの時期に強調月間を設けています。

さて、わが地区の会員数は、数年前によく減少傾向に歯止めが掛かり、僅かですが増強に転じています。地方都市の過疎化、事業所の後継者不在、更には不確実な経済環境など会員の確保に極めて困難な状況下で、各クラブともよくぞ努力し成果を挙げていただいていると評価し、敬意と感謝を表します。

改めて述べるまでもありませんが、どんな組織にあっても自然に任せておくと、高齢・病気・死亡・人間関係の軋轢などにより退会者が生じ、会員は減少します。どんな組織にあっても会員減少は死活問題であり、多くなれば、互いに触れあう摩擦熱で組織は活力や魅力を増し、その発する磁力により新たな会員を呼び込みます。どんな組織にあっても会員を増やすことは、組織の体力を強化し、財政基盤を確立し充実した活動を可能にします。従って組織を生き生き保つためには、常に新しい人材を求めなければなりません。どんな組織であっても、いや特にロータリーにとって、最大の財産は『会員』であり、優秀な会員という財産無くして、崇高な理想の実現はあり得ません。会員を増やすことは、ロータリーの未来を託す人財を得ることになり、私たちは、次代への責任を果たすこととなります。『会員増強』が『ロータリアン最大の奉仕』といわれる所以です。

過って戦後の順調な経済成長期にクラブは拡大し、会員は著しく増加しました。そしてバブル経済の崩壊以降会員は減少し続け、私たちは重苦しい十数年を経験しました。それを克服するため無我夢中で会員獲得に奔走しました。無理に入会をお願いした方にはロータリーへの理解や規律を強いることを避け、ハードルを和らげ迎え入れたのではないのでしょうか。その結果、残念ながらロータリーへの愛着の薄い会員を多く育てたのではないかと、危惧しています。誠に残念なことですが、国際ロータリーも本来の精神を蔑にして基準を緩和し、柔軟な方向に向かっています。

改めて私たちは過去の反省に立ち、これから反転攻勢に向け足固めするときと考えますが、皆さんのお考えは如何でしょうか。

いまモラルの崩壊が指摘されています。私たちは少しでもそれを正す組織でありたいと自負しています。従って私たちロータリーが望む『会員増強』は、単に人頭分担当を増やすために会員数を整えるのではなく、高い職業倫理を有する謙虚で誠実な、そして社会に貢献できる誇り高いロータリアンを一人でも多くすることにあると考えます。

地方都市を取り巻く環境は依然厳しく困難を伴いますが、各クラブともロータリーに相応しい方を一人でも多く迎え入れ、しっかりしたロータリー情報を徹底し、常に組織を生き生き保つことに心がけたいものです。ロータリーがこれから更に輝き続けるために。



地区研修・協議会を終えて

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー 吉原 久司

地区研修・協議会は会長エレクトがPETSで学んだことを基にリーダーシップスキルをさらに磨き、他の次期地区リーダーも出席して各自の役割について学びます。この協議会で、クラブリーダーのチームが次年度の目標をさらに練り上げます。

今年度の地区研修・協議会は5月13日(日)に広島国際会

議場に809名の参加者を集めて開催されました。前半は合同本会議で、次年度RI会長のバリー・ラシンさんの【BE THE INSPIRATION】(インスピレーションになろう)を私としては「鼓舞する人」「感化し・自信を取り戻さす人」ととらえ、皆様にお話しました。更に3つの目標優先項目、ロータリー賞の説明を行いました。また、ガバナー信条を「輝こうロー



タリー ふたたび!」、基本目的を「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」としました。分科会の会長幹事部門ではRI研修リーダー足立功一さんをお迎えし「2016年規定審議会：クラブ活性化とその未来」のテーマでレベルの高い講演をして頂きました。更にクラブ管理運営部門、公共イメージ部門、会員増強部門、職業・社会・国際奉仕部門、青少年奉仕部門、ロータリー財団部門、米山記念奨学会部門が行われました。それぞれに充実した時間を過ごされたと報告を受けています。

改革・変化には反対がつきものです。反対の意見の根底には変わることへの不安があります。この壁を突き破った

向こうに何があるのか? この山を越えた向こうに何が見えてくるのか? クラブ指導者の皆様は、この不安を払拭するため3年後の5年後のクラブの在り方を会員に指示してください。そして「インスピレーション」となってください。我々の活動が終わった後も子や孫の世代までも続くロータリー魂、すなわちより良い世界への切望、そして、より良い世界を作ることとは可能だという、心の奥深くにあるロータリアンの自信を呼び起こすことから始めてください。

最後に関係者の皆様のご協力に感謝し地区研修・協議会の報告とします。



地区研修・協議会報告 会長・幹事部門

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 **安部 雅文**

2018-19年度ガバナー信条は「輝こうロータリー ふたたび!」そして地区基本目的は「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」です。

2016年度規定審議会の決定を受け、例会数、入会金、会費など柔軟に変化しつつ、会員増強等に取り組んでいるクラブもありますが、ロータリーらしさを遺しつつ生き残りを図るためには、多くの課題があることも事実です。

本分科会ではこれらをテーマにロータリークラブの将来を考えていくこととしました。

まず、国際ロータリー2016-18年度研修リーダーの足立功

一様より、「2016年規定審議会：クラブ活性化とその未来」と題してご講演を頂きました。参加者皆が興味のある内容を分かり易くお話し頂き、全員熱心に聴き入っていました。

引き続き、吉原ガバナーエレクトがコーディネーターとなり、足立様をアドバイザー、ガバナー補佐4名(G2田中AG、G4 蔵清AG、G8 神垣AG、G10 宇田AG)をパネリストとして迎えてのパネルディスカッションを行いました。こちらでも活発な発言が相次ぎました。

最後に金子克也地区研修リーダーより講評を頂戴し、分科会を閉じました。



地区研修・協議会報告 クラブ管理運営部門

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 クラブ管理運営委員会 委員長 **高橋 宏明**

今年度の当委員会の基本方針は、①ロータリークラブ定款、細則の改定の現状把握と支援 ②クラブ戦略計画の更新と策定支援 ③プログラム関連委員会の紹介と推進 ④IT、SNSの積極的活用(My ROTARY 登録推進、クラブセントラルへの登録・更新) ⑤戦略計画委員会ワーキンググループとして、地区およびクラブの戦略計画について協力体制を策定 の5項目です。

分科会では、カウンセラーの沖田哲義パストガバナーから「クラブ管理運営の目的(目標)とクラブ戦略計画」と題し講演を頂きました。元気なクラブを創るためCLPの活用。

クラブ戦略計画を策定する為にマッキンゼーの経営戦略の活用と、クラブ自己評価表(クラブの健康チェック)による環境分析の必要性などをはじめ有益なお話を伺いました。

クラブ活性化事例発表では、尾道RCの楽しい同好会活動が会員相互の親睦を深めクラブの活性化と退会防止に繋がっていることをご紹介しました。

最後に沖田カウンセラーから「十分戦略計画を勉強して各クラブのお役に立てていただきたい」と分科会を締めました。



地区研修・協議会報告 会員増強部門

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員長 中島 秀晴

会員増強部門の分科会では、2016年規定審議会で決定された「クラブ運営の柔軟性」の本質と会員増強の関係について考察することを主眼に企画致しました。

まず会長・幹事部門の分科会に参加させて頂き、2016-18年度RI研修リーダー足立功一様（釧路北RC）の講演「2016年規定審議会：クラブ活性化とその未来」を拝聴しました。

会場移動した後に、増強実績を上げられている広島北RCの杉町 隆様に事例発表を頂きました。青年会議所OB・経済同友会からの勧誘や、例会の100%出席を目指されており、その例会もオープン例会・招待例会など大変工夫されてい

る様子をお話頂きました。

その後、昨年に引き続き実施した「クラブ運営の柔軟性」についてのアンケート調査結果を発表させて頂きました。2年続けてのアンケートでしたが、結果としてはほとんど変化は無く推移していました。

最後に西村カウンセラーから講評を頂き、分科会を終了致しました。参加された次年度会員増強委員会委員長には、分科会での情報を活用して頂き、各クラブにて会員増強して頂ければ幸いです。



地区研修・協議会報告 公共イメージ部門

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 IT委員長 中 洋一

世間の方々にロータリーをよいイメージで知って頂くために、公共イメージに役立つSNSや効果的なマスメディアなどの研究をテーマとして分科会を行いました。

最初にマスメディアの活用事例として、尾道RCの協賛している「こども美術館の旅」が尾道ケーブルTVで取り上げられた例の紹介を行いました。次に、ITの活用について、事前に各クラブから提出頂いたアンケート結果を基に、ホームページやSNSをどのように活用しているか、また、抱えている課題等について紹介した後、マイロータリーの活用方法

をローリーショーケースへの投稿事例やバナー等のコンテンツの入手方法を実際の画面を見ながら説明しました。最後にロータリーの友の内容等を紹介しながら精読推進と投稿の際のポイント等の説明を行い各委員からの発表を終えました。最後にカウンセラーの東パストガバナーから、一般の方へのロータリー活動が分かりやすく伝わる工夫が必要になるという事、ホームページを活用する事、友の購読を推進する事が重要という講評を頂き、分科会を終了いたしました。



地区研修・協議会報告 奉仕プロジェクト①(職業・社会・国際奉仕)部門

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト 委員長 今岡 寛信

奉仕プロジェクト部門①はカウンセラーの大之木精二パストガバナーをお迎えし、開催を致しました。分科会を開催するにあたり、事前に全クラブへ奉仕活動実施事例（国際奉仕、職業奉仕、社会奉仕）についてのアンケートをお願いいたしました。

国際奉仕の事例紹介は、山中 巖様（広島東南RC）から国連ユニタール「南スーダン奨学プログラム」への協力（ホームステイと交流イベント）、姉妹クラブである「パールハーバーRC」の受入、平和公園献花、市長表敬、植樹等の共同事業についての報告がありました。

職業奉仕の事例紹介は、東谷和夫様（宇部RC）から外国人実

習生たちへの職業指導、アドバイスについての報告がありました。

社会奉仕の事例紹介は、大藤良治様（広島廿日市RC）から廿日市市の河川である御手洗川の植樹（さくら）および清掃、RCCの設立とサポートについての報告がありました。

「奉仕プロジェクトアンケート結果」を参考として事例発表クラブの選出をし、また一部のクラブの内容紹介もさせて頂きました。73RCの奉仕活動に対する取り組みはみな素晴らしい、大変感銘を受けました。

最後にカウンセラーの大之木様より講評とアドバイスをいただき、終了致しました。



地区研修・協議会報告 奉仕プロジェクト②(青少年奉仕)部門

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 青少年奉仕委員会 委員長 鍛冶川 孝雄

青少年奉仕は、カウンセラーに金子信(萩RC)様をお迎えし、ローターアクト委員長山田幸一様、インターアクト委員長村上博志様、青少年交換委員長加藤晴彦様、RYLA委員長鍛冶川孝雄(いずれも尾道RC)が現在取り組んでいる、青少年の為のRI常設プログラムの地区、並びに各クラブの現況と問題点の報告とそれを踏まえての年間行事の取り組みについて説明を行いました。

ローターアクトは最も大きな課題として、本年度も取り組んで行きたい。20年前、15クラブ、総会員数266名から現在は、広島分区4クラブ、山口分区3クラブ、会員数60名と激減している事に危機感を持って問題点を精査し、提唱クラブだけでなく、多クラブとの連携支援の在り方、活動基金の創設等、ローターアクト活性化の方策を検討して行きます。

インターアクトクラブは、ホスト校修道高等学校(広島南RC)にて第42回インターアクト地区大会が広島、山口より21

校、180名の生徒の参加により、7月28日(土)～29日(日)開催され、翌年1月29日、日韓親善歓迎式、交流会開催予定。又、本年度は3月下旬にIA韓国研修旅行も実施予定です。

青少年交換プログラムは、本年度青少年交換派遣、交換受入学生を各4名ずつ受け入れることが決定しています。

RYLAはホストクラブ下関RCのご尽力のもと、2019年5月18日(土)～19日(日)海峡ビュー下関をメイン会場に、講演会、懇親会のみでなく、青少年がこれまでしたことのないことに挑戦したり、皆で協同協力して達成したり、「聞く」「知る」だけでなく、実際に「体験」することを大事に考えられています。また、下関は、歴史や観光名所も多く、維新150年でもあり様々な企画を検討して頂いております。

会員増強を重大課題と捉え、様々な問題点をしっかり受け止め、克服への努力の年としたいと思います。



地区研修・協議会報告 ロータリー財団部門

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員 藤本 政昭

ロータリー財団部門分科会の開会にあたり、伊賀委員長より、吉原ガバナーが掲げるロータリー財団の基本方針、ロータリー財団の使命に沿った地区補助金の活用、6つの重点分野を支援するグローバル補助金、地区ロータリー財団委員によるクラブサポートの強化について、ご挨拶がありました。

分科会では、地区現況報告について八百谷委員、補助金の活用促進について三吉委員、ロータリー財団奨学生について川本委員より報告がありました。また、今年度9月からグローバル補助金奨学生となる宮田春香さん(キングスカレッジロンドン・広島東南RC推薦)と地区補助金奨学生となる吉本文香

さん(シェフィールド大学・広島南RC推薦)より挨拶を頂き、続いてロータリー財団学友の宗盛千枝さん(特定非営利活動法人日本紛争予防センター勤務・ヨーク大学大学院・呉RC推薦)と新口慎太郎さん(在カンボジア王国日本大使館外部委員・バーミンガム大学大学院・三原RC推薦)のお二人に、約40分間、奨学生時代のエピソードと現職について講話を行って頂きました。

最後に田村カウンセラーより講評を頂き分科会を終了いたしました。



地区研修・協議会報告 米山記念奨学会部門

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会 委員長 清水 秀樹

ポール・ハリスのことばの中に「ロータリーは世界平和の縮図である。」という言葉があります。まさにそれを実践しようと日本にいる留学生を対象にして作られた日本独自の「米山奨学会」制度も去年50周年を迎えました。2710地区も今年より新しい体制で事業を進めてまいります。

今年の地区協では会議の趣旨である「次期クラブ指導者が任期のために準備を整え、指導者チームを築くこと」を念頭

に、米山奨学会のご説明と奨学生、カウンセラーの方々の卓話をいただき、事例紹介等を行いました。今年は特別寄付に注力していただくことによってガバナーの掲げられた地区の目標である16,000円/人を目指し、全国34地区中現在20位である順位を上げたいと思いますのでよろしく願いいたします。



「ロータリーの友」オリエンテーション報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 雑誌「ロータリーの友」委員長 松下 雅人

先日、「ロータリーの友」地区代表委員のオリエンテーションが行われましたので、報告致します。まず「ロータリーの友」の成り立ち、必要性、構成内容などについての説明がありました。そして「ロータリーの友」はRIから認定された、地域雑誌であること。そしてロータリアンは「ロータリーの友」または「The Rotarian」を購読する義務があることが特に重要であると感じました。

また、記事には横組みに縦組みがあり、横組みの最重要記事としてRI指定記事があります。これはロータリー地域雑

誌の義務の一つに「The Rotarian」記事から指定された記事をも、翻訳して転載しなければならないというものがあります。2月号の川妻パストガバナーの原爆についての記事がこれにあたります。

また、9月は「ロータリーの友」月間ですので特に意識的に活動して欲しいとの事。また実はロータリアンの会員数の減少が購読数の減少をまねき、財政的に苦しいので雑誌内広告を募集しているの地区内に案内して欲しいとの事でした。



国際ロータリー第1・第2・第3ゾーン 会員基盤向上セミナー報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 公共イメージ委員会 委員長 山本 修

3月26日～27日ホテルオークラ東京において「会員基盤向上セミナー」が開催されました。今回は、吉原ガバナー、藤中直前ガバナー、2018-21年度RRFC田村泰三パストガバナーのほか、R財団委員会 伊賀委員長、会員増強委員会 中島委員長、公共イメージ委員会 山本で参加しました。セミナーのテーマとして3つ挙げられております

- 日本3ゾーン復活に向けて更なる努力を
- 戦略計画と会員増強・公共イメージ向上・クラブ活性化のために

●ロータリー財団を活用した奉仕活動を深め広めるために

一日目のセミナーは、会員増強とクラブ活性化の部で公共イメージに関するプログラムと会員増強に関するプログラムを中心に午前10時より午後6時まで実に内容の濃いセミナーでした。二日目は、ロータリー財団の部で午前9時より午後4時まで開催されました。



ロータリー財団寄付のお願い

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員会 委員長 伊賀 訓之

■2018-19年度地区ロータリー財団寄付目標

ポリオプラス基金	35ドル以上／1人
年次基金	150ドル以上／1人
恒久基金	ベネファクター1人以上／クラブ または1,000ドル以上／クラブ

大口寄付の要請(自動定期寄付を奨励)

冠名基金の要請(自動定期寄付を奨励)

■定期寄付

定期寄付は、国際ロータリーのウェブサイトよりオンラインでお申込みいただけます。

クレジットカードによる定期寄付では、寄付の頻度(毎月、四半期、毎年)と金額を自由に設定でき、毎回寄付の手続きにわずらわされることはありません。定期寄付を利用すれば、財団の取り組みの主な資金源となる年次基金を、継続的に支援することができます。

皆様のご協力をお願いいたします。



国際ロータリー第2710地区 2017-18年度会員増減・出席率(2018年6月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
1	長門	91.04	25	22	4	1	4
	下関	74.46	49	44	1	3	8
	下関中央	81.68	31	34	6	5	2
	下関東	75.51	54	56	3	6	4
	下関北	86.79	43	43	0	3	3
	下関西	81.10	35	33	1	1	3
	計	81.76	237	232	15	19	24
2	萩	96.10	57	54	0	4	7
	萩東	97.55	22	24	1	3	1
	美祢	81.90	24	22	0	3	5
	小野田	80.30	35	35	3	3	3
	宇部	92.73	46	46	3	6	6
	宇部東	67.86	14	13	2	1	2
	宇部西	90.03	53	51	3	3	5
計	86.64	251	245	12	23	29	
3	防府	91.84	54	59	2	8	3
	防府北	86.62	17	19	1	4	2
	防府南	91.28	37	34	6	3	6
	山口	87.33	50	46	4	8	12
	山口県央	91.85	30	29	1	4	5
	山口南	87.91	41	41	4	4	4
	計	89.47	229	228	18	31	32
4	光	92.83	44	53	0	9	0
	周南西	89.34	55	54	4	4	5
	徳山	94.63	46	44	1	10	12
	徳山セントラル	93.55	24	24	0	5	5
	徳山東	95.10	51	50	0	3	4
	計	93.09	220	225	5	31	26

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
5	岩国	84.43	60	61	0	11	10
	岩国中央	88.76	44	40	3	0	4
	岩国西	85.17	59	61	4	3	1
	柳井	100.00	33	28	3	2	7
	柳井西	96.70	24	25	3	3	2
	計	91.01	220	215	13	19	24
6	広島	99.55	115	117	1	14	12
	広島安芸	96.80	39	41	3	3	1
	広島安佐	87.29	25	21	2	1	5
	広島東	99.28	95	110	8	27	12
	広島北	100.00	92	96	0	8	4
	広島陵北	99.32	51	52	2	4	3
大竹	88.69	32	32	0	4	4	
計	95.85	449	469	16	61	41	
7	広島中央	99.80	78	77	6	7	8
	広島廿日市	95.82	33	35	2	3	1
	広島城南	98.82	44	45	3	3	2
	広島南	99.57	88	83	0	6	11
	広島東南	99.98	100	99	13	5	6
	広島西南	100.00	62	66	4	7	3
広島西	100.00	81	83	2	7	5	
計	99.14	486	488	30	38	36	
8	江田島	90.94	18	18	0	3	3
	東広島	97.16	33	33	2	2	2
	東広島21	78.34	18	16	4	0	2
	呉	92.67	65	67	0	11	9
	呉東	92.10	32	36	1	6	2
	呉南	90.14	59	61	3	2	0
西条	99.73	38	37	3	4	5	
計	91.58	263	268	13	28	23	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
9	広島空港	85.21	27	27	3	0	0
	因島	93.03	18	20	0	2	0
	三原	90.39	60	58	0	4	6
	尾道	80.45	78	82	2	8	4
	尾道東	91.03	53	52	4	1	2
	瀬戸田	77.78	5	5	1	1	1
	竹原	92.28	32	32	4	1	1
計	87.17	273	276	14	17	14	
10	府中	90.46	26	26	0	0	0
	福山	96.11	81	83	0	13	11
	福山東	90.83	48	48	2	0	0
	福山丸之内	95.31	31	30	1	2	3
	鞆の浦	88.89	23	24	0	3	2
	福山REC2710*	99.35	21	19	3	1	3
	計	93.49	230	230	6	19	19
11	福山赤坂	80.65	48	52	7	4	0
	福山北	92.50	42	38	0	1	5
	福山南	86.18	57	57	2	4	4
	福山西	97.88	40	41	4	2	1
	松永	89.79	53	53	3	2	2
	計	89.40	240	241	16	13	12
	12	吉舎	96.04	18	15	0	0
三次		85.46	39	41	0	5	3
三次中央		93.57	44	41	5	0	3
庄原		87.08	33	33	4	4	4
東城		93.58	19	18	1	0	1
計		91.15	153	148	10	9	14
第2710地区計	90.47	3251	3265	168	308	294	

※正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」

『GNOとGNIN』

特別コラム

ガバナー月信副編集長(尾道ロータリークラブ) 岡野 吉右衛門

最近、若い30代~40代の起業経営者の話を聞く機会を得た。彼らの口から「GNO」「GNIN」という言葉が次々ととびだしてきた。「GNO」って何?

「GNO」とは「義理」と「人情」と「恩返し」の頭文字の略だと言う。彼らはこの「GNO」こそが、仕事においても人生においても最も大事なことだと彼らは言うのである。若い起業経営者からこんな言葉を聞くのは驚きであった。彼らは米国や欧州のMBAを取り、合理性、効率化、論理的思考を基にした経営哲学で経営をしても、短期的には成功するが長期的には難しいと、それを克服するにはどうしても「情の力」が必要不可欠であると。欧米諸国のように労働者を「もの」と同じように扱う考え方では、人は動かない。人が動くのは「情の力」であり、「情」を知った人間こそが、相手の心を感動させ味方にし、人を動かすことができる。彼等は言う。

「世間に陰徳の種子まけば、家門に陽報の花、咲かん 努むべし」この言葉は我々、日本人が幼少の頃から教えられ、母には、陰徳を積みなさいと、時あるごとによく言われたものである。陰徳とは「人に知らせ

ず、ひそかにする善行、かくれた恩徳」

「GNIN」とは「義理と人情と陰徳」のことである。最近の風潮として陰徳では広報にならないと否定されがちであるが、我々は生まれて以来、善行はひそかにするもので、わざわざ広報するものではないと教えられたため、違和感を覚えざるを得ない。ロシアで行われているサッカーワールドカップで日本人のサポーターが試合後散らかったスタジアムのゴミを有志で清掃している姿がTVで放映され、世界中の人々を感動させた。これも褒められようとしたパフォーマンスであれば、こんなに絶賛されることはなかっただろう。善行を施すこととは「無私」の気持ちと「与える」喜びを感じることである。

欧米流の「ギブ&テイク」の思考は、必ず対価を求めるものである。「与えよ、さらば求められん」キリスト教的教義である。しかし我々日本人は東洋的教義である「魅(魅力)は与によって生じ、求によって滅す」「ギブ&ギブ」の精神で求めているのはダメよという精神。

欧米流であるロータリークラブの広報活動も「今一度」考え直すべき時期にきているのではなかろうか。



2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

新会員紹介

 三喜田 修一 下関RC 2018年5月7日 ガス供給	 中山 祥三 美祿RC 2018年7月3日 建設業不動産業	 水口 正義 宇部RC 2018年6月7日 生命保険	 土井 康徳 防府RC 2018年7月3日 建築	 末富 誠 防府RC 2018年7月3日 建築板金	 市川 真也 防府RC 2018年7月3日 ホテル	 青木 隆行 防府北RC 2018年7月2日 建設業	 竹村 俊浩 防府北RC 2018年7月2日 自動車販売整備	 伊藤 将男 防府北RC 2018年7月9日 ホテル
 渡邊 正 防府南RC 2018年7月5日 私立高校教育	 隅田 栄治 防府南RC 2018年7月5日 住設機器販売	 光永 治 防府南RC 2018年7月5日 建設材料販売	 柏田 裕之 徳山RC 2018年6月7日 民間放送	 久保島 宏 徳山RC 2018年6月7日 旅行業	 三上 忠 徳山RC 2018年6月7日 都市銀行	 光橋 康雄 徳山RC 2018年7月7日 証券業	 藤島 陽将 岩国中央RC 2018年7月4日 獣医	 加藤 喜之 広島東RC 2018年6月6日 事務機器配付
 高木 芳郎 広島東RC 2018年6月6日 車検検査業	 高島 恭一郎 広島東RC 2018年6月6日 商社	 丹後 博貴 広島東RC 2018年6月6日 コンサルティング事業	 水野 圭人 広島東RC 2018年6月13日 土地家屋調査士	 折本 佳典 広島東RC 2018年6月20日 スポーツ施設運営	 中川 稔生 広島東RC 2018年6月27日 生命保険	 三宅 孝直 広島北RC 2018年6月14日 寝具クリーニング業	 達田 耕治 大竹RC 2018年6月12日 信用金庫	 柳澤 一美 広島東南RC 2018年6月25日 輸入車販売
 田島 慎也 広島西RC 2018年5月10日 自動車部品製造	 古澤 彰一 江田島RC 2018年5月31日 総合建設	 井上 豊 呉RC 2018年5月24日 ホテル	 佐藤 政秀 呉RC 2018年5月24日 障がい者向けサービス	 室澤 秀明 呉東RC 2018年6月27日 特殊溶接	 片山 晋一 三原RC 2018年6月19日 自動車修理	 花田 章浩 三原RC 2018年6月19日 食品加工	 小林 啓太 福山RC 2018年6月4日 損害保険	 豊田 滋之 福山RC 2018年6月4日 水産物加工
 白濱 尊義 福山RC 2018年6月11日 総合金融サービス業	 小林 春道 福山赤坂RC 2018年7月3日 電気設備工事	 鈴木 臣也 福山赤坂RC 2018年7月3日 ビルメンテナンス	 荒木 裕介 福山北RC 2018年7月6日 食料品卸売業	 近藤 雄大 福山北RC 2018年7月6日 画廊	 徳山東 RC 2018年6月16日 逝去 (享年68歳)	 広島 RC 2018年6月24日 逝去 (享年92歳)	<p>謹んで追悼の意を表します</p> <p>■ロータリー歴 ホルハリスフェロー 米山功芳者 2015-16年度がん予防推進委員会準備委員 2016-18年度がん予防推進委員会委員 2009-10年度新世代奉仕委員長 2011-12年度会員増強委員長 2012-13、2013-14年度国際奉仕委員長</p> <p>■職業分類 外科医</p>	

文庫通信

370号

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

■講演より

「2人のRI会長・4つの骨の物語」	渡辺 好政	2018	2p	D.2690 地区大会記念誌
「家族のきずな」	今井 鎮雄	[2002]	9p	D.2510RYLA セミナー
「働く誇り」	矢部 輝夫	[2014]	6p	D.2510RYLA セミナー報告書
「大切なのは今」	黒川 光博	2018	8p	D.2590 地区大会の記録
「輝いて生きる」	ジュディ・オング	2018	5p	D.2780 地区大会報告書
「グローバル化と自国第一主義」	池上 彰	2018	19p	D.2760 地区大会記録誌
「関ヶ原から読み解く日本近代史～中国地方の徳川400年」	徳川 家広	2018	12p	D.2690 地区大会記念誌
「東海道新幹線とリニア中央新幹線」	葛西 敬之	2016	8p	D.2760 地区大会記録誌
「[無言館]のことー戦没画学生が伝えるもの」	窪島 誠一郎	2018	12p	D.2590 地区大会の記録
「サービスの極意」	田崎 真也	[2018]	24p	D.2530 地区大会記念誌

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03) 3433-6456 FAX: (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館: 午前10時～午後5時 休館: 土・日・祝祭日

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323 E-mail: info@ri2710.com URL: <http://ri2710.com/>